

この度、創業明治20(1887)年という大変長い歴史がある有限会社金子新聞販売紫波本社様の新社屋が完成いたしました。

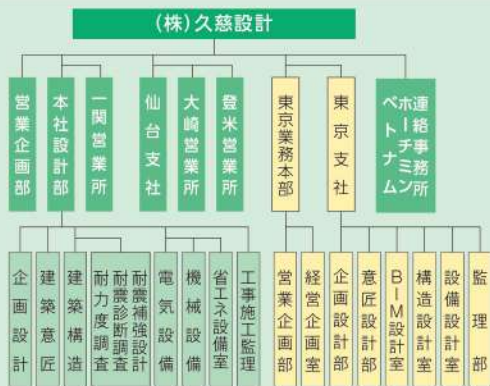
現在のITネット社会において「新聞」という媒体を守りつつ、雨の日、雪の日、風の日も毎日欠かさずに地域の方々に情報を届け続けることを責務として働いておられる社員、配達員の皆さまの姿勢には感服いたします。新たな職場環境になり、今後もますます地域に根ざした「情報サービスアンカー」として進化し続けることを期待しています。



KUJI ARCHITECTS NETWORK <http://www.kuji-act.com/>

株式会社 久慈設計 お客様ご案内窓口 TEL.019-624-0240

- 本社 岩手県盛岡市紺屋町3-11
TEL.019-624-2020 / FAX.019-622-7720
[岩手県知事登録第1(2207)5号]
(一社)岩手県建築士事務所協会会員
- 東京業務本部 東京都千代田区西神田二丁目5-2 TASビル5階
TEL.03-6682-4111
FAX.03-6682-4070 / FAX.03-6682-4071
[東京都知事登録第54196号]
(一社)東京都建築士事務所協会会員
- 仙台支社 宮城県仙台市青葉区八幡五丁目3-11
久慈設計仙台ビル
TEL.022-727-8780 / FAX.022-718-1388
[宮城県知事登録第17510025号]
(一社)宮城県建築士事務所協会会員
- 大崎営業所 宮城県大崎市古川小泉字大小441-1
エクセレント ファム102号
TEL.0229-24-5020 / FAX.0229-24-5029
- 登米営業所 宮城県登米市迫町北方字山ノ上35-4-103号
TEL.0220-21-5633 / FAX.0220-21-5644
- 一関営業所 岩手県一関市山目字前田42-8
TEL.0191-26-2006 / FAX.0191-23-7550
[岩手県知事登録第1(2009)1657号]
- ベトナムホーチミン連絡事務所 #12.7th Floor Star Building, 33ter-33Bis
Mac Dinh Chi Street, Da Kao Ward, Dist.1, HCMC



株式会社久慈設計74名
有資格者数

一級建築士	27名	一級電気工事施工管理技士	4名
構造設計一級建築士	2名	一級管工事施工管理技士	1名
設備設計一級建築士	1名	二級建築士	8名
建築構造士	1名	建築積算士	9名
建築設備士	1名	二級電気工事施工管理技士	1名
建築コスト管理士	1名		

(平成29年9月末日現在)

株式会社 久慈設計東日本

- 本社 宮城県仙台市青葉区八幡五丁目3-11
久慈設計仙台ビル
TEL.022-727-8780 / FAX.022-727-8781
[宮城県知事登録第15610059号]
- 大崎営業所 宮城県大崎市古川小泉字大小441-1
エクセレント ファム102号
- 登米営業所 宮城県登米市迫町北方字山ノ上35-4-103号
- 盛岡支店 岩手県盛岡市紺屋町3-11
TEL.019-604-8205 / FAX.019-604-8206
[岩手県知事登録第1(1902)第1346号]
- 東京支店 東京都板橋区蓮根一丁目16-9
TEL.03-6789-3992 / FAX.03-6789-3992



株式会社 久慈設計管財 本店 東京都千代田区西神田二丁目5-2 TASビル5階

Always with a SMILE!

2017
10月号
Vol.151

—— 時代をつなぎ情報を届けて130年

特集

岩手県紫波町
有限会社金子新聞販売 紫波本社





金子新聞販売株式会社
代表取締役
金子 真也 様

ごあいさつ

この度、弊社紫波町の拠点店舗の移転新築に対し心より深く感謝申し上げます。1985年には紫波町の旧店舗を、1997年には矢巾町の現店舗をお世話になりました。そして3度目の2015年本店舗は、私の生い立ちや思いを同世代として親身にご理解頂いた担当設計士様に、地域の状況と未来を見据えて機能的にもデザイン的にも環境的にも危機管理的にも素晴らしい大満足の社屋を設計して頂きました。

有限会社金子新聞販売 紫波本社

施工地 / 岩手県紫波郡紫波町日詰字丸盛 214番地1
竣工年月 / 平成27年5月
敷地面積 / 2,508.29㎡

延床面積 / 事務所棟: 779.02㎡
自動車庫: 144.00㎡

構造 / 事務所棟: 鉄骨造2階建
自動車庫: 鉄骨造1階建



ロードヒーティングが施された社屋北側エントランス



JR紫波中央駅を中心とした
オガールエリアに近接する立地の紫波本社

配置図・平面図



災害に強く、職務環境に配慮

金子新聞販売様は当初、新社屋の建設はJR紫波中央駅周辺の整備に合わせて計画されましたが東日本大震災とその後の豪雨災害などによる被災で計画延期を余儀なくされ、新しく体制と環境が整い、この度の移転新築となりました。日々の情報サービスアンカーとして安全で安定した業務の継続とサービスの向上は最重要の責務であります。

本施設は敷地を軟弱地盤に耐えうる強固な基礎形状にしたうえで建物自体の構造体には無理のない形状のシンプルな架構としました。深夜に新聞印刷工場から搬入されたその日の新聞を早朝に配達する業務は一層の効率化が求められます。1階は全面ガラス張りの広く明るい執務環境をつくりだすとともに作業室を建物中央に広く設け、事務作業空間とは分離させて業務上の無駄が全くない空間配置と作業動線を確認し、職務の機能向上につなげております。2階にはロッカー更衣室、ユニットバス、リフレッシュができるホールとルーフデッキなどを完備し、一日の稼働時間が長い新聞販売店ならではの配慮をしております。また、敷地内の広い駐車場は、災害緊急時には地域の方々の避難所ともなるように計画いたしました。夏休みなどでイベント開催時には周辺住民に多目的広場として開放しております。



昭和戦前の社屋店舗の様子



自然光が差し、明るく開放的な事務室



広く快適で衛生的な作業室

積極的な環境対策を推進

金子新聞販売様は社屋の屋上には16.72kwの太陽光パネルを設置し、業務には電気自動車を活用しております。さらにペアガラスの採用、社屋照明の総LED化、エコ設備(エアコン、トイレ、建物構造)の導入など徹底して環境対策を推進し、将来にわたり持続可能なエネルギー活用を図り、紫波町のエコショップ認定事業所にも選定されております。



リフレッシュに最適なラウンジホール



電気自動車と多目的広場にもなる駐車場



地元中学生の職場体験学習



視聴覚設備を整えた会議室